



空気が乾燥し、風邪やインフルエンザが流行る季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか？
健診センターだより 3 回目のテーマは PET/CT 検査です。生涯のうち 2 人に 1 人は、がんになると言われています。がんは早期に発見、早期から治療することにより、がんを克服できる可能性が高くなります。PET/CT 検査は、一度の撮影で、ほぼ全身をみることができ、苦痛の少ない検査です。当健診センターでは、平成 25 年 4 月から PET/CT 検査によるがん検診を始めました。皆様より質問をいただくことも多く、今回は PET/CT 検査について紹介いたします。

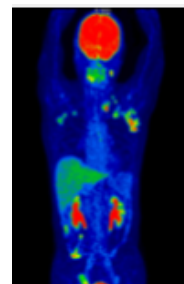


PET/CT 検査とは？

PET とは、Positron Emission Tomography (陽電子放出断層装置) の略で、生体の機能 (細胞の活動状況) を観察する検査法です。病変の形態と位置を観察する CT 検査と組み合わせたのが、PET/CT 検査です。

PET 検査の原理

がん細胞は正常な細胞に比べて多くの (3~8 倍) ブドウ糖を取り込むという性質を利用して、ブドウ糖にフッ素-18 というごく微量の放射性物質 (放射性同位元素) をくっつけた薬品 (FDG) を体内に注射します。すると、がん細胞は正常な細胞より多くの FDG を取り込みます。そこから放出される放射線を PET カメラでとらえて画像化し、がん細胞の位置や大きさなどを調べます。



ただし、PET/CT は、万能ではありません。

1cm 未満の小さながんや場所により見つけにくいがんもあります。



[PET が得意ながん]

肺がん、咽頭・喉頭がん、甲状腺がん、大腸がん、食道がん、膵臓がん、乳がん、子宮がん、卵巣がん、悪性リンパ腫



[PET が不得意ながん]

胃がん、膀胱・尿管のがん、腎臓がん、前立腺がん、肝臓がん、胆道がん、脳腫瘍、白血病、

PET が苦手な領域を他の検査でカバー

消化管内視鏡検査・MRI 検査・CT 検査・エコー検査・血液検査 (腫瘍マーカー検査・肝炎ウイルス検査)



部位別がん罹患率 (2008 年)

男性：1 位 胃がん、2 位 肺がん、3 位 大腸がん

女性：1 位 乳がん、2 位 大腸がん、3 位 胃がん

(国立がん研究センターがん対策情報センター)

もしがんが見つかったら…



信頼できる専門医師のもとで治療を受けましょう。当院は「がん診療連携拠点病院」に指定され、専門的ながん医療を提供しています。検診で異常が見つかった場合、外来受診の紹介をしております。

PET/CT がんドック検診のご案内

PET/CT 検査のみ：105,000 円

月曜日～金曜日 検査時間

①8:30～11:30 または ②9:15～12:00

1 日ドック、2 日ドックと合わせて受けられることをおすすめします。